様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 27日

八王子市長　　殿



提出者
住　所　東京都あきる野市草花1141番地

氏　名　成友興業株式会社
代表取締役　細沼 順人

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3538-4111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	成友興業株式会社　建設事業部
事業場の所在地	八王子市内の各建設事業所
計画期間	令和７年４月１日から令和８年３月３１日まで

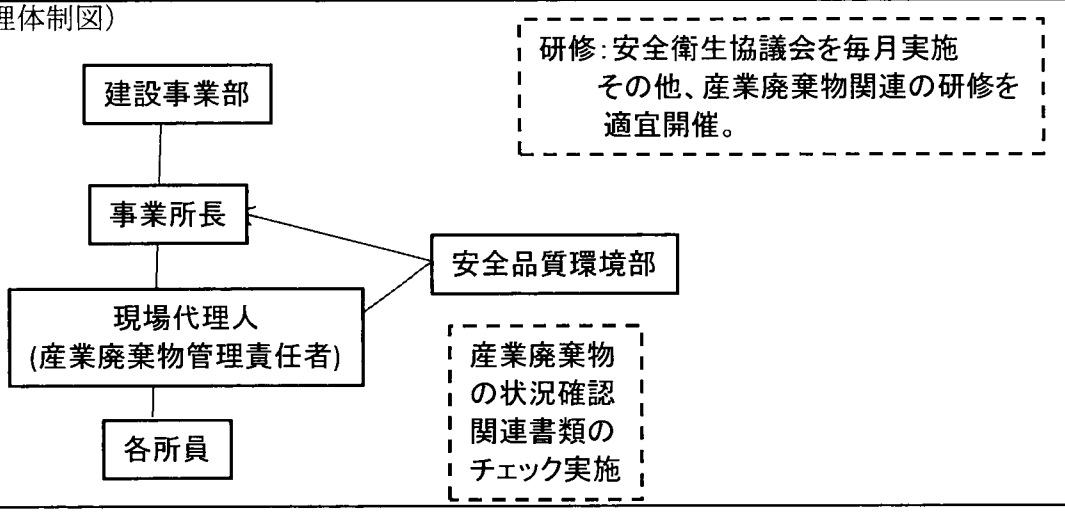
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業
②事業の規模	建設事業売上高　5,406百万円 （令和5年10月　～　令和6年9月）
③従業員数	216名（令和7年4月現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設汚泥⇒脱水・造粒固化等⇒改良土・洗浄砂 アスファルトガラ⇒破砕⇒再生砕石 コンクリートガラ⇒破砕⇒再生砕石 その他がれき類⇒破砕⇒再生砕石 廃プラスチック類⇒破砕・圧縮⇒RPF原料等 木くず⇒破砕⇒燃料チップ等 紙くず⇒圧縮梱包⇒再生原料 廃蛍光管⇒破砕・焙焼等⇒再資源化 建設系混合廃棄物⇒圧縮・破砕等⇒再資源化

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
排　出　量	3.85　t	2.58　t

がれき類（コンクリート片、廃アスファルト、その他がれき類）は全量リサイクルに回している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
排　出　量	5.00　t	5.00　t

工事の受注量に伴い産業廃棄物排出量は変動するが、少なくとも微増に抑制する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	発生する産業廃棄物について、分別を徹底し種類ごとに保管したうえ
②計画	現状を継続する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物
排　出　量	952.50　t	1,084.30　t	160.80　t	4.44　t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物
排　出　量	1,000.00　t	1,200.00　t	200.00　t	5.00　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
排　出　量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
排　出　量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
排　出　量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
排　出　量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t

建設汚泥、がれき類については、自社プラントによるリサイクルが基本。処理後の再生砕石、改良土の活用を行っている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t

現状を継続する。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3.85　t	－　t

建設汚泥、がれき類、ガラス陶磁器くずについては、自社処理施設を利用してリサイクルを図ることを基本としている。
その他の廃棄物についても、再資源化施設に処理委託することにより、リサイクルを行う。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	5.00　t	－　t

現状を継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	150.60 t	26.60 t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	200.00 t	30.00 t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
全処理委託量	－　t	2.58　t
優良認定処理業者への処理委託量	－　t	2.58　t
再生利用業者への処理委託量	－　t	2.58　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	－　t	－　t

処理施設の選定にあたり、優良認定の有無を参考に、事前に委託先処理施設の確認に努める。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物
全処理委託量	801.90　t	1,057.70　t	160.80　t	4.44　t
優良認定処理業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	4.44　t
再生利用業者への処理委託量	801.90　t	1,057.70　t	160.80　t	4.44　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
全処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
優良認定処理業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
再生利用業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	－　t	－　t	－　t	－　t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－　t	－　t	－　t	－　t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（　　6　年度）実績】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
全処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
優良認定処理業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
再生利用業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者への処理委託量	－　t	－　t	－　t	－　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	－　t	－　t	－　t	－　t

	②計画	【目標】 産業廃棄物の種類：建設汚泥 / 木くず 全処理委託量：－ t / 5.00 t 優良認定処理業者への処理委託量：－ t / 5.00 t 再生利用業者への処理委託量：－ t / 5.00 t 認定熱回収業者への処理委託量：－ t / － t 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者：－ t / － t 現状を継続する。
※事務処理欄		

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	建設混合廃棄物
全処理委託量	800.00 t	1,170.00 t	200.00 t	5.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	5.00 t
再生利用業者への処理委託量	800.00 t	1,170.00 t	200.00 t	5.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
全処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	－	－	－	－
全処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	－ t	－ t	－ t	－ t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。